欠陥家具の報告

皆さんが安全に仕事をするには、日々の小さな事の積み重ねが必要です。 普段から無視してきた小さな問題の蓄積で大惨事が起こります。 緩んでいる椅子の脚、机のネジ欠損、或いは机の引き出しの溝のひび割れの様なちょっとした修理を怠ると、怪我につながる重大な問題になる可能性があります。 下記の状態に注意してみましょう。

- 車輪付きの椅子は木製やその他材質に関わらず、良好な状態の車輪が、5つの車輪の付いたものを使用することにより安定性が高まります。 背もたれが椅子に確実に固定されていることも点検しましょう。 座面の位置を上昇する場合は、うっかり支柱を緩めてしまわない様に気を付けましょう。

- 椅子に腰掛ける際は体の動きに注意し、椅子が逃げないよう手で椅子をしっかり押さえましょう。

- 木製家具は、裂けやひび割れが、刺し傷の原因となる事があります。 ひび割れ、脚の緩み、破損した椅子を使用することにより、椅子から転落・落下し、体を床にひどく叩き付け苦痛を伴います。

- 金属製のキャビネット、机、椅子は壊れると縁が鋭く尖ったり、ささくれ荒れた状態になります。 縁の点検は、目視で行いましょう。 表面にあるささくれや鋭い縁の有無を手で触って確認してはしけません。 危険箇所を特定した結果、引き換えにあなたが痛い傷を負う事になります。

- 机の引き出しが合ってない、手入れが行き届いていないものも事故の原因になります。 引き出しはレールに正しく合っていて、底板がしっかり固定されているかを確認しましょう。 机とキャビネットの引き出しは、引っかかりがなくスムーズに動かなければなりません。

- 事務所の可動式間仕切りは、転倒防止のためしっかりと固定しましょう。 間仕切りに従業員が寄りかかったり、衝突した場合、固定されていない間仕切りが隣席に倒れ、怪我をします。

- 片側や両側に延長した袖がある机は、適切な連結留め具で組み込みましょう。 往々にしてこの連結留め具等の安全強度が見過ごされた状態で机が設置されています。 重量のあるプリンターやコンピューター、又はファックスを袖に載せ、それが崩壊した場合は大きな怪我の原因になります。

- 重い物や書籍等を載せ過ぎた棚にも注意しましょう。 棚は、壁の石膏ボードのような簡易内装板に固定するのではなく、壁の間柱にしっかりと固定しましょう。

- 机や受付のコーヒーテーブルとして使用されているガラス張りのテーブルは、日々の使用による劣化で、ガラスの表面にひびや傷ができます。 そのまま放置するといずれ破損し、深い傷を負いかねません。

- プリンター用置き台や照明付きテーブルには、電源コンセントが付いている物もあります。 電源コンセントは感電や火災の原因になるような欠陥が無いかを確認しましょう。

常に安全に気を配る習慣を身に付けましょう。
皆さんの事務所の家具を定期的に検査し、欠陥を見つけたら遅滞なく上司や営繕担当部署に報告し修理の依頼をします。 安全な環境で働くためには、皆さんが細部に注意を払うことが必要です。